

学習分析学会『学習分析学』 執筆要領

1. 原著論文, 実践論文, 展望論文の執筆

本学会のオンライン論文誌『学習分析学』に投稿する、「原著論文」、「実践論文」、「展望論文」の原稿は、学習分析学会のウェブで公開されているテンプレートを用いて作成する。

1.1 原稿の要素

「原著論文」、「実践論文」、「展望論文」の原稿は以下の要素を含むものとする。

- 表題：日英両文で記す。
- 著者名と所属：日英両文で記す。
- 連絡先：代表著者の e メールアドレスを記す。
- 概要：200 字以内の日本語と 150 ワード以内の英語を併記する。
- キーワード：日英両文で 5 つ程度を記す。
- 本文：日本語または英語で記述する。書式は後述する。
- 参考文献：書式は後述する。
- 付録：必要に応じて記す。

1.2 書式

- 原稿サイズ：A4 縦書きで、本文と参考文献のみ 2 段組とする。マージンは上下左右とも 20mm、1 ページ当たり 40 行、2 段組では 1 段あたり 25 文字とする。
- 原稿の長さ；16 ページを上限とする。ただし、査読意見への対応のためなど、編集委員会がページ数制限の超過を認めることがある。
- フォント：概要、本文（セクションタイトルを除く）、参考文献はプロポーショナル明朝体、それ以外はプロポーショナルゴシック体とする。
- フォントサイズ：テンプレートに準拠する。
- ポイントシステム：JIS Z8301:2008 に準拠し、以下のようにする。
 - 章：1., 2., 3. …
 - 節：1.1, 1.2, 1.3 …
 - 項：1.1.1, 1.1.2, 1.1.3 …
- 文体：「だ」「である」調とする。
- 句読点：日本語の場合「、」「。」を用いる。
- 図表タイトル：図のタイトルは直下に、表のタイトルは直上に配置する。図番号と表番号は、本文全体での通し番号をつける（図 1、図 2 など）。
- 引用文献リスト：APA (American Psychological Association) Publication Manual 第 6 版に準拠する。
- 本文における文献の引用：APA Publication Manual 3.34 節 “Quotation of Sources” に

準拠する。

2. 寄稿の執筆

本学会のオンライン論文誌『学習分析学』に投稿する「寄稿」の原稿は、学習分析学会のウェブで公開されている、「原著論文」、「実践論文」、「展望論文」のためのテンプレートを用いて作成する。ただし、以下に定めのあること以外は、必要に応じてテンプレートを改変してよい。

2.1 原稿の要素

「寄稿」の原稿は以下の要素を含むものとする。

- 表題：日本語あるいは英語で記す。両方を併記してもよい。
- 著者名と所属：日本語あるいは英語で記す。両方を併記してもよい。
- 連絡先：代表著者の e メールアドレスを記す。
- 概要：必要ないが、原稿に含めてもよい。
- キーワード：必要ないが、原稿に含めてもよい。
- 本文：日本語または英語で記述する。書式は後述する。
- 引用文献：必要ないが、原稿に含めてもよい。
- 付録：必要に応じて記す。

2.2 書式

- 原稿サイズ：A4 縦書きとする。マージンは上下左右とも 20mm、1 ページ当たり 40 行とする。2 段組の書式を用いる場合には、1 段あたり 25 文字とする。
- 原稿の長さ；最大で 8 ページとする。ただし、編集委員会がページ数制限の超過を認める場合がある。
- フォント：概要、本文（セクションタイトルを除く）、参考文献はプロポーショナル明朝体、それ以外はプロポーショナルゴシック体とする。
- フォントサイズ：テンプレートに準拠する。
- ポイントシステム：セクションを構成する場合には、JIS Z8301:2008 に準拠し、以下のようにする。
 - 章：1., 2., 3. …
 - 節：1.1, 1.2, 1.3 …
 - 項：1.1.1, 1.1.2, 1.1.3 …
- 句読点：日本語の場合「、」「。」を用いる。
- 図表タイトル：図のタイトルは直下に、表のタイトルは直上に配置する。図番号と表番号は、本文全体での通し番号をつける（図 1、図 2 など）。
- 引用文献リスト：引用文献がある場合には、APA (American Psychological Association) Publication Manual 第 6 版に準拠する。

- 本文における文献の引用：本文において文献の引用を行う場合には、APA Publication Manual 3.34 節 “Quotation of Sources” に準拠する。